

# テーマ：経営資源の保護

## タイトル：

自社の規模と業務内容に応じて、個人でできる  
取組を実践



### ポイント

- 自社のニーズと実行可能な取組を集中的に実施
- 緊急連絡用に作成したLINEが新たな受注ルートとなり、新規需要を獲得！

### BCP策定のきっかけ

- 同社は、地域住民を主な顧客とし、写真現像プリント、撮影から編集、加工等のデジタルコンテンツサービスを担っている。
- BCP策定に関心をもったのは、設備投資のために天草市の支援策活用を天草市商工会職員に相談したのがきっかけ。自然災害により、建物・設備など物的損失だけでなく、経営上重要なデータやノウハウも失う可能性があるとの聞き、さらに、新型コロナウイルス感染症の流行により、事業継続に危機感を覚えてBCPの策定を決めた。

### BCP策定時の課題と解決方法

- 初めはどのような手順で計画を策定すればよいか、分からないことが多かったが、天草市商工会職員がヒアリング形式で計画の策定を支援してくれたため、やってみると特に難しい点はなかった。
- 個人事業主のため、大規模な対策は難しいため、可能な範囲の対策で、損失が最小限になるよう検討した。例えば、大雨による事務所の浸水、それに伴う機械設備の被災などでは、物理的に大きな機械類を2階に待避させることが難しいため、被災しても、修理費用や買い換え費用等に充てるための水災保障特約保険に加入し、さらにその後の見直しで製品在庫も保障対象に追加した。

### 策定した内容

- 災害発生時の利用客の安全の確保  
自身で利用客の安全を確保するため、近隣の避難所へのルート確認、誘導方法を検討。

### 顧客・知的財産データの保護

重要データを保存している事務所1階のPCを2階に移動させることは難しいため、想定される浸水深を踏まえ、2階の高所にバックアップ用のハードディスクを設置。今後は、データのクラウド管理も検討。

### 生産体制の維持

関係者、顧客に被害状況や復旧の見通しを報告するためのLINE連絡体制を整備。

写真の印刷機は特注のため、被災した場合、納入まで時間がかかることも予想される。そこで、天草市の同業者同士で、被災時に機械を融通し合う体制を構築。被災時だけでなく、日頃から連絡を取り合い、所有設備を融通し合うなど円滑な協力体制を整えている。

### 感染症への対応

カメラや撮影機材等、病原体の付着が想定される物品をリスト化し、消毒を徹底。

平時から、衛生用品を備蓄している。

### BCP策定後の効果

- 緊急時の連絡用に、LINEアカウントを作成したところ、顧客からLINE経由で注文が入ってくるようになり、新たな需要の発掘につながった。そのため、セキュリティ性が高く安全な公式LINEアカウントを作成し、今では重要な受注ルートとなっている。



店舗の外観

### 活用施策

- 事業継続力強化計画

### 【会社概要】

企業名：パールカラー

所在地：熊本県天草市五和町二江4634

資本金：－

従業員数：－

業種：技術サービス業・写真業

企業HP：<http://www.acn-tv.ne.jp/~pearlcolor/>